

# KOBE YMCA NEWS



神戸青年

No.644

2016. 5・6

May・June

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7  
THE YMCA神戸版 発行人/井上 真二 編集人/田村 光  
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15  
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479  
URL http://www.kobeymca.org 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA  
年間聖句

「平和な人には未来がある」  
(詩篇37編37節)

## 神戸YMCA三宮会館 オープンに向けて

### 「神戸YMCA学院専門学校 ホテル学科」

新しく生まれ変わる「神戸YMCA三宮会館」の中心事業となる学校教育事業「神戸YMCAカレッジ」、その中で、第1回は「神戸YMCA学院専門学校 ホテル学科」を紹介します。

神戸YMCA学院専門学校ホテル学科は、最初の東京オリンピックが開催された1964年に、関西ではじめてのホテル専門学校としてスタートしました。

戦後の復興から高度成長にむけて、海外からの観光客の受入の必要性を感じられた日本ホテル協会兵庫県支部(当時)からの依頼をうけて、ホテル学校をスタートしました。



1966年4月 第3回入学式

2014年には設立50周年を迎え、この歴史の中から、多くのホテリエが生まれました。神戸ポートピアホテル、ANAクラウンプラザホテル神戸、ホテルラ・スイート神戸ハーバーランド等の神戸市内のほぼすべてのホテルに、YMCAを卒業した先輩達がそのホスピタリティを実践しています。

そして今は、卒業生自身が神戸YMCAのホテル学科講師として、現場感覚を交えた内容を学生達に伝えていく、という授業を行っています。

このホテル学科では実践的なカリキュラムを取り入れ、在学中に3回の長期インターンシップ(現場実習)を実施し、卒業後すぐにホテルの第一線で働ける即戦力を養成しています。

近年は、ホテルサービスに加えてブライダルの人気が高まっています。このブライダルコースでは、インターンシップに加えて実際の結婚式披露宴をとりおこなう「模擬挙式」を行い、実践感覚を身につける取り組みを行っています。



18才人口減少の中で、一時期低迷した学校教育事業でしたが、第2回東京オリンピックの開催・海外インバウンドの急増・好調な就職実績等をうけて、ホテル学科を目指す学生が増えました。新会館のオープンにあわせて、社会人や現役のホテリエが学ぶコースもスタートします。



2016年度 余島オリエンテーションプログラム

ホテル学科の活動を、引き続きご支援ください。



## シアトルYMCA — 神戸YMCA — ユースエクスチェンジ50年を迎えて

現在、神戸YMCAは6つの海外のYMCAとパートナーシップを締結しており、アメリカ・シアトル、タイ・チェンマイ、台湾・高雄、韓国・大田、水原、中国・天津のYMCAです。その中でも一番長く交流を続けてきたのは、シアトルYMCA。その交流の中心でもある高校生交換プログラムは今年で50周年を迎えます。神戸市とシアトル市が姉妹都市締結したのは1957年。その後60年にわたって日米親善の活動が続けられています。その初めの頃、当時のシアトル市クリントン市長がシアトルYMCAの会員であったこともあり、来神の時に神戸YMCAにもコンタクトがあった、交流が始まったと伝えられています。そして、1966年夏、シアトルYMCAから最初の高校生の訪問団を迎えることとなりました。



1966年、シアトルYMCAからバル・マックルー主事に引率された20名ほどの高校生が来神し、小豆島の神戸YMCA内海キャンプ場でのキャンプ生活を含む交流プログラムが実施されました。そして、翌年には、神戸YMCAから篠原慶弘主事の引率で第1回目の高校生15名が渡米することになります。以来、毎年、相互訪問が続けられ、多くのユースや両YMCAのスタッフがその若い日に貴重な異文化体験をすることができました。



1966年 神戸-シアトルYMCA 第1回ユースエクスチェンジプログラム

前半の25年は、戦後日本にとって高度経済成長の時代であり、高校生にも国際化や情報化の波が激しく襲ってきた時代でした。とは言え現代ほどICT(情報伝達技術)やSNS(ソーシャルネットワークサービス)が進化している時代でもなく、日本とアメリカの文明的な格差の中で、日本の高校生たちにとっては価値観の違いや新しい文化に戸惑いながら、憧れをもってそれを楽しみ、吸収していきました。一方、後半の25年は、バブル経済崩壊後の低成長時代の日本にあつて、急速なICTの進歩によって、地球はより小さくなって、日米の距離も縮まったように感じる時代に、高校生たちは何を感じたのでしょうか。それでも、若い高校生同士の共感と文化の違いを楽しみながら、交流の実を上げていきました。特に、この時代はグローバル社会の進展に伴い、神戸とシアトルの関係だけでなく、チェンマイや他のパートナーYMCAを含めたマルチラテラルな交流が模索され、関連イベントが実施されたことも新しい交流の形となりました。

これからの時代も、グローバル化とICT技術は益々進展していくことでしょう。神戸とシアトルのユースの交流も、時代の流れを反映しつつも、顔と顔を合わせて、手をつなぎながら、またたどたどしくもお互いの言葉を交換しながら、触れ合うことを大切に継続していただきたいと願うものです。



2015年 神戸-シアトルYMCA ユースエクスチェンジプログラム

若いうちに体験したことはその後の人生に大きな意味を与えます。多くの先人がこのユースエクスチェンジで大きなギフトをもらったように、これからのユースもこのプログラムを通して「人生の宝物」を得てほしいと願います。

顧問 水野雄二

今回の交流50周年には、シアトルYMCAから、Gilbertson総主事ご夫妻、Tom Horsley氏、Meredith Cambra氏、Erica Mullen氏、Allison Smith氏、Josh Sutton氏、Wendy Bart氏、が来日されます。滞在期間中の予定は以下のとおりです。

- 5月11日 来日
- 5月12日 神戸YMCA各ランチ訪問
- 5月13~14日 姫路・京都を訪問
- 5月15日 神戸市長を表敬訪問、神戸まつり(パレード)に参加  
50周年記念式典&パーティ
- 5月16~17日 余島キャンプを訪問
- 5月18日 帰国

## (新) 三宮会館建築工事進捗状況

4/14(木)には、現地で外装の色見本の確認を行いました。写真は、施工業者の大林組より説明を受けているところです。現在3階まで躯体が上がり、1階部分の内部の見学も行いました。



## 2016年 定期総会

- 日時：2016年5月31日(火) 18:30~
- 場所：神戸市教育会館 大ホール 神戸市中央区中山手通4丁目10番5号  
「県庁前」駅下車、東1番出口より東へ徒歩5分
- 議事：1. 常議員・監事選任について  
2. 2017年度定期総会日程変更について
- 報告・表彰：1. 2015年度事業活動概況・2016年度事業方針  
2. 監事報告  
3. ボランティア奨励賞

# YMCAちとせ保育ルーム

## 「3年目のスタート」

2014年4月より開園されたYMCAちとせ保育ルームも、この4月で早3年目を迎えました。

今年度は1歳児9名、2歳児4名、計13名でのスタートとなりました。

この2年間で感じたことは、異年齢児の小さな集団であるお家のような保育ルームの中で、子どもたち一人ひとりが幼いながらも互いの成長を見守りながら影響し合って過ごしているということです。例えば、同じ年齢のお友だちが、苦手だった野菜を食べてみる姿に刺激されて「はくも食べる!!」と食べてみたり、1歳児のお友だちがトイレでおしっこができたと聞くと、2歳児の子どもたちが「すごーい!!」と拍手喝采で一緒に喜んだり、1歳児が2歳児の遊び方を真似てみたり、そして時には喧嘩もしたりと本当に兄弟のように育ち合っている姿が見られました。



そして今年度も、始まったその日から、泣いている新入児に進級児の子どもたちが自分のお気に入りのおもちゃや絵本を持ってきて「どーぞ。」と遊びに誘ったり、「よしよし」と頭を撫でてあげたり、涙を拭いてあげようとティッシュを取ってきて差し出したりと、いままで卒園したお兄さんお姉さんたちから受けた優しさがそのまま受け継がれていることを感じました。



小さな子どもたちがこうして、良き隣人として愛を持って互いに受け入れ合う姿に、神様の愛と恵みを改めて感じています。3年目も感謝を忘れずに過ごしていきたいと思います。

# 東日本大震災支援活動 第15回 リフレッシュファミリーキャンプ



神戸YMCAでは、東日本大震災復興支援タスクスタッフおよび東日本大震災復興支援チームリーダー会が中心となり、兵庫県内に避難されている方々のリフレッシュプログラムを実施してきました。

2016年3月19日-20日 六甲山YMCAにてリフレッシュファミリーキャンプを行いました。1日目は焼き芋作り!玉ねぎや茄子やカボチャなど色々な物を焼いてみました。乾燥した葉っぱを探してきたり、薪を運んだり、アルミホイルでくるんだり・・・。自分で作ったホカホカの焼き芋に、満面の笑みでかぶりついていました。「リーダー食べてないやろ?これ食べ!」と言って持ってきてくれる子もいて、とても暖かい気持ちになりました。

夜は暖炉を囲んで、恒例となった子ども会議で、これからについて話し合いました。子どもたちから「次は二泊したい!」「もっとみんなで協力して出来るゲームがしたい!例えば宝探しとか!」というような声がありました。

また、保護者の方々からは「この空間は無くしたくない」「出来る限りでも手伝いたい」という声も聴くことができ、かけがえのないものとして受け止めて下さっていることに、とても嬉しい気持ちになると同時に、大きな責任を感じています。

2日目は、ダイヤモンドポイントから更に奥の三国岩というところまで歩いて行きました。倒木や崖、川など険しい道を超えてたどり着いたときの子どもたちの顔はとても輝いていました。

2016年3月11日で震災から5年が経ちました。多くのところで節目の5年と言われています。しかし、まだこのリフレッシュプログラムを必要としている方は多くいます。1人でも私たちが必要としてくれる人がいる限り、私たちはこのプログラムを続けたい。この思いを胸にこれからも活動していけるよう努めていきます。

(報告:神戸YMCA東日本大震災復興支援リーダー会 今林誠貴)

# 西宮市留守家庭児童育成センター



香櫨園センターお花見にて

西宮では用海、浜脇、香櫨園の3小学校に併設する児童育成センターに、今年も多くの子供たちが集っています。4月から香櫨園センターで53名、用海センターで44名、浜脇センターで52名、合計149名の新1年生が仲間に加わりました。まだ小学校へ入学していない新1年生が右も左も分からずに育成センターへやってきて、慣れない環境に不安を覚え、涙をこぼす姿も見られました。そんな時には新2年生・3年生のお兄さんお姉さんが、そっと声をかけて励まし、新しい仲間を受け入れていました。このように多様な年代、バックグラウンドを持った子ども達が集う小さな社会の中で、仲間と喜びや悲しみを共有することで「違いを認め合い、多様性を受け入れる心」が育まれるのだろうと感じています。将来の地域や世界の課題に向き合い「自分と他者を大切に、平和な社会を実現する人」を育てることを目標として、これからも多くの子ども達に寄り添い、ゆっくりと歩みを共に進めていきたいと思っています。

# 感謝・寄付

感謝をもってご報告します(敬称略、順不同)  
阪神地区イースター早天祈祷会実行委員会

平成27年度NHK歳末たすけあい義援金の配分を受けて、跳躍板2台を購入することができました。跳躍板は、ファミリーウエルネスセンターで行っている児童発達支援「神戸YMCAタンポポくらぶ」の体育室のプログラムで大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

## 新会館建築募金

(前号掲載以降~3/31現在)  
山根 泉、秋田 正人、特非)クルーズ、宗行 孝之介、尾上 尚司・美絵、和田興産(株)、岩井 義矢、坂北 恵美子、荻田 尚治、他匿名の方1名

# 神戸学園都市YMCAこども園

## 新5歳児へのバトンタッチ

2015年4月に開園した神戸学園都市YMCAこども園は60名の園児とともに2015年度を修了いたしました。そして初めての卒園児となる5名を新しい世界へと送り出すことができました。短い期間ではありましたが、兄弟のように過ごしたこども園での生活は、次の学年へと受け継がれていきます。

この4月には新しい子どもやご家庭が仲間として加わり、72名の園児たちの生活がスタートしました。この時期、初めて家族から離れる乳児さんは、泣くことで感情を表現するのですが、そんな姿にも文字通り一人ひとりに寄り添いながら、抱っこをしながら安心感を伝えています。そのような中、こども園には職員に加えて心強い仲間がいるのです。同じ会館にあるウエルネスセンターの会員さんやスタッフが抱っこボランティアとして関わってくださいます。たくさんの人の愛情に包まれ、いつのまにか、乳児さんたちは柔らかな笑顔へ。そして大人にも同じように笑顔が広がっていきます。

この一年も、子ども・家庭・地域のみんで輪になり、神様から与えられた幼子のいのちを大切に守り育て、平和をともしする歩みを続けてまいります。



# 国際協力募金の報告と感謝

2015年度YMCA国際協力募金へのご協力をありがとうございました。

### 【支出】

日本YMCA同盟拠出金	320,000
タイワークキャンプ及びユースボランティア・チェンマイ派遣	702,260
定住外国人子ども奨学金	180,000
国際活動リーダーシップ養成	553,388
神戸YMCA国際奨学金	240,000
オリーブの木/パレスチナ・ガザ支援	78,000
ネパール地震支援	460,840
常総市水害支援	48,637
難民緊急支援	24,936
台湾地震支援	44,999
CODE-PHD協会支援	100,000
開発・国際理解教育	95,000
事務局経費	138,502
計	2,986,562

### 【収入】

一般募金	2,207,150
指定募金	779,412
計	2,986,562

2015年度神戸YMCA東日本大震災復興支援募金へのご協力をありがとうございました。

(2016年2月末現在、2010年度(震災発生直後)～2014年度分を含みません)

### 【支出】

福島の子ども招待キャンプ	3,986,182
被災避難ファミリープログラム	681,702
未来を創るピースフォーラム	138,600
広報活動費	39,760
書籍購入	3,564
計	4,849,808

### 【収入】

一般募金	1,280,138
指定募金	3,377,261
計	4,657,399



総主事 井上 真二

## 「御崎のグラウンド」

神戸YMCAで最初の配属先である三宮ランチでサッカーの担当となり、最初に行ったグラウンドが御崎公園サブグラウンド(神戸市兵庫区)でした。そのメイングラウンドである「神戸市立中央球技場」は神戸競輪場の跡地である御崎公園内に日本初の夜間照明を備えた球技専用スタジアムとして1970年に完成し、1988年に神戸外国人クラブ(KRAC)と横浜外国人クラブの間で日本初の対抗戦が開催されたことなどから、神戸はサッカー発祥の地とも呼ばれています。ちょうどプログラムが終わる夕方頃から点灯し、天然芝の緑が鮮やかでとても美しいグラウンドだった事を記憶しています。そしてこの球技場が神戸開港100周年を記念したプロジェクトの一環であったことを私は全く知りませんでした。ワールドユースサッカーやユニバーシアード神戸大会などが開催され、ペレやマラドーナといった伝説のスーパースターによる名勝負も繰り広げられました。1998年、阪神淡路大震災で被災した球技場は2002FIFAワールドカップ日韓大会の試合会場として建替えられ、28年間の幕を閉じました。その後2001年10月に「神戸市御崎公園球技場」として竣工し、一般公募で「神戸ウイングスタジアム」となり、2007年3月からはネーミングライツ(命名権)により「ホームズスタジアム神戸」、2013年3月から「ノエビアスタジアム神戸」となっています。

2017年1月1日、神戸港は開港150年を迎えます。

# 熊本地震緊急支援募金

2016年4月14日以降、熊本県内で立て続けて発生している大きな地震により、現地では多くの方々が避難生活を余儀なくされています。

熊本YMCAは、地震発生以降、困難な状況の中での救援活動を行っています。神戸YMCAでも、阪神・淡路大震災での支援活動の経験をもとに、熊本YMCAをサポートしていきます。

ぜひ皆さまのご支援を、YMCAとともに熊本のみなさんに届けていただければ幸いです。

支援募金は、神戸YMCA各拠点に募金箱を設置しています。また、神戸YMCAのウェブサイトでご覧いただけます。

<http://kifu-kobeymca.org/fund/kumamoto/>



益城町総合体育館の様子

「タイワークキャンプを終えて」

シリーズ「くさくさいのまど」 46

3月21日(月)から3月30日(水)まで第32回タイワークキャンプが行なわれました。今年には日本から5名、ミャンマーから2名、ラオスから7名、タイから6名の計20名のキャンパーが参加して、チェンマイから車で約2時間のランブーン県ヴァイアンノンロング郡のバントンプンスクールで手狭になった教室の拡張、教室の床のタイル張りなどをキャンパーたちが協力してワークを行ないました。



ワークだけではなく、学校の子どもたちへ各国の紹介や各国の料理紹介なども行ないました。日本の紹介では「ラジオ体操」を披露、料理紹介では「お好み焼き」と「ドラ焼き」を作り、子どもたち・先生たちに食べてもらいました。お好み焼き・ドラ焼きともに好評でした。村での生活はホームステイで日本語・英語が伝わらないホームステイ先の家族と必死にコミュニケーションを取ろうと努力する姿や文化の違い・生活の違いを必死で乗り越えようとする姿がありました。最初は戸惑って「無理」「あかん」という言葉も出ていましたが、日がたつにつれてその言葉はなくなり、最終日はホームステイ先の家族・学校の子どもたちと別れを惜しみ、「もう少しここで過ごしたい」「まだ帰りたくない」という言葉が何度も出たのが印象的でした。

キャンパー達はこのキャンプの中で普段では経験出来ない貴重な体験や出会い、学びがたくさんあり、彼らの日常の中でさまざまな形で活かされてくることと思います。そして、この貴重な体験の場であるワークキャンプを、どのような形で継承していくかを考えて行きたいと思えます。このキャンプを支えてくださった全ての方々に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

ファミリーウェルネスセンター	☎078(241)7202
YMCAホームヘルパーの事務所	☎078(241)7237
ランゲージセンター	☎078(241)7204
専門学校	☎078(241)7203
西宮YMCA	☎0798(35)5987
三田YMCA	☎079(559)0075
余島野外活動センター	☎0879(62)2241
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)	☎078(241)7216
国際・奉仕センター	☎078(241)7204
ウェルネスセンター学園都市	☎078(793)7401
西神戸YMCA	☎078(793)7402



# Information

YMCAおひさま	☎078(793)9077
西神南YMCA	☎078(993)1560
須磨YMCA	☎078(734)0183
YMCA保育園	☎078(794)3901
西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992
西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011
神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955
YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542
ちとせ保育ルーム	☎078(732)3542
西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705
西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016



## 「Camp is Fun!」



初めてのキャンプは子どもたちも、送り出す家族も不安なもの。しかし、キャンプは1人ではありません。応援してくれる仲間、自分を信じてくれるリーダー、雄大な自然。キャンプのなかで子どもたちは仲間と歌い、笑う。そしてその「喜び」も、家族を想う「さみしさ」も共に感じ、全身で表現します。2020年に100周年を迎えるYMCAのキャンプにぜひお越しください。

申込みは神戸YMCAホームページより!

[www.kobeymca.org/index.html](http://www.kobeymca.org/index.html)



## ファミリーウェルネスセンターニュース

4月6日(水)に、ファミリーウェルネスセンターの子どものプログラムに関わるリーダーを対象にトレーニングを行いました。前半は、2015年度の評価と、2016年度のそれぞれのプログラムのねらいの確認を行い、後半は、体育室で実際に身体を動かし、体操の実技や補助のトレーニングです。リーダー自身がマットや鉄棒、とび箱で前転後転、逆上がりや開脚とびをやってみて、ポイントを確認したり、補助の仕方やコツを学びました。リーダーたちは、もっと知りたいという気持ちが強く、少し時間が足りなくなりましたが、良い学びの時間となりました。

次回は、5月6日に子どもの指導法やアクアティックのトレーニングです。また、これからも年間を通じてトレーニングを予定しています。

リーダーたちも子どものことや指導法、実技のトレーニングを行い、プログラムに参加する子どもたちや保護者の方々のいのちが光り輝くよう、日々を積み重ねていきたいと願っています。



## イースター早天礼拝

3月27日、神戸YWCA・神戸YMCAのイースター早天礼拝を、東遊園地で行いました。日本聖公会神戸聖ヨハネ教会の藤井尚人司祭を迎え、「イエスさまが呼んでいる」と題してメッセージをいただきました。新しく始まる2016年度、YMCAを通して新たに逢う一人ひとりの名前を呼びながら、歩みを始めていきたいと願うひと時でした。

なお、席上献金53,216円は、神戸YWCA相互援助募金ならびに神戸YMCA国際協力募金、東日本大震災復興支援募金に捧げさせていただきます。

同日、甲東教会にて阪神地区イースター早天礼拝が行われましたことも合わせてご報告いたします。



## 東日本大震災復興支援募金活動



3月13日、第47回東日本大震災復興支援街頭募金を神戸大丸前で行い、計81,910円もの募金が集まりました。

(内16,685円は神戸YMCAファミリーウェルネスセンターにて)

今年で東日本大震災から5年が経ちましたが、今も尚、様々な問題を抱え苦しんでおられる方は多くいます。私たちはそのような方々の笑顔を守る為に、これからも継続して支援していきたいと思っています。

(ボランティアリーダー：赤松由梨)

## 日本語学科留学生 生活用品配布

神戸YMCA学院専門学校では、来日間もない留学生を応援するために生活用品を配布しています。

例年 宝塚ワイズメンズクラブの青柳美知子様を中心に、多くの方々からご寄贈いただきましたが、今年は三菱造船労働組合様より越冬大作戦に加えて生活備品にもご協力いただけることとなり、食器や鍋、タオル等を配布することができました。皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。



## 私たちの憲法を知る集い VOL.6

2013年度より私たちの憲法を知る集いを開催しています。今回は、坪井兵輔さんのお話を伺いながら、過去から現在までの神戸の姿を見つめ直し、今と未来の平和について考えたいと思います。

日時：2016年5月20日(金) 18:30~20:30  
 会場：神戸市青少年会館(神戸市中央区雲井通5-1-2) 5F レクリエーションホール  
 ゲスト：坪井兵輔さん(毎日放送 報道局)  
 参加費：無料  
 申込方法：事前下記まで予約ください。  
 神戸YMCA国際・奉仕センター  
 TEL: 078-241-7204  
 Email: houshi@kobeymca.org

